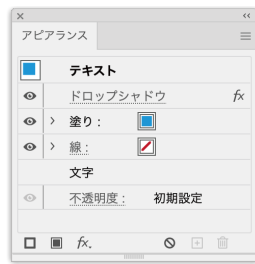
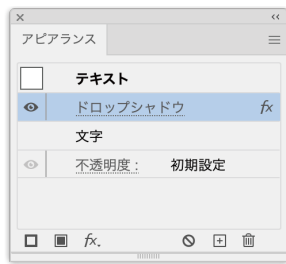
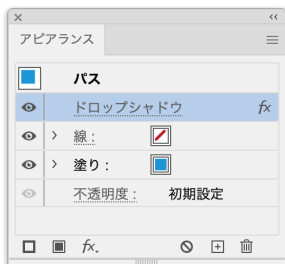
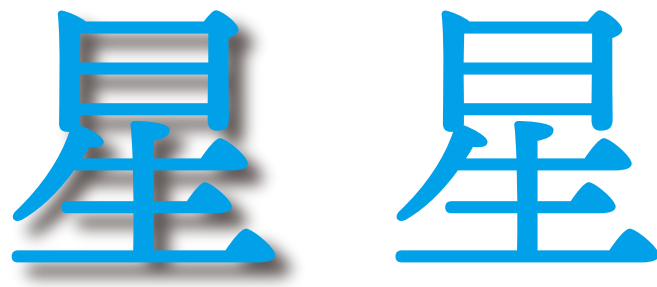


1つめの要因

ドロップシャドウは最上位に置いた場合、表示されない仕様
(文字属性で色をつけた場合は表示される)



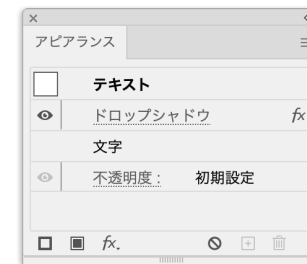
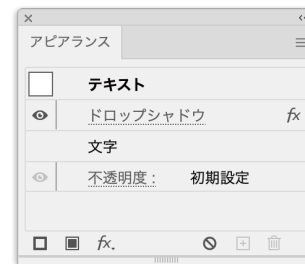
- パスの最上位にドロップシャドウを追加した場合
- (影は表示されない)

- 文字属性で色を付けてテキストの最上位にドロップシャドウを追加した場合
- (影は表示される)

- アピアランスで塗りを足し色を付けてテキストの最上位にドロップシャドウを追加した場合
- (影は表示されない)

2つめの要因

ドロップシャドウは、ぼかしがあると画像になる
ぼかしがないとパスとして残る仕様



- 文字属性で色を付けてテキストの最上位にドロップシャドウを追加したもの
- (影のぼかしは1mm)

- 文字属性で色を付けてテキストの最上位にドロップシャドウを追加したもの
- (影のぼかしは0)

アウトライン化



- 文字をアウトライン化すると、左のパスと同じ状態になってしまうため、影が表示されなくなります。



- 左と同じで、文字属性がなくなり、パスではなくなるので、ドロップシャドウはあるけど消えます。(最下層に移動すれば復活します)



- ぼかしがない場合はパスとして生成されているので、複製された2つのパスに対して、後から指定した色が適用されてダブった状態になります。

結論

文字のアウトライン化により、文字をパスに変換することで挙動が変わります。まずアピアランスの分割を。効果は基本的に、塗りや線ごとの項目内に収めた方が挙動がわかりやすい。最上位、最下位に置くのは構造の理解が必要です。